

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第37週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (37 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：報告なし。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
4 類感染症：報告なし。5 類感染症：水痘 (入院例) 1 例、梅毒 3 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	10歳代	男	—	腹痛、水様性下痢、発熱、O血清群不明(VT型不明)
5類	水痘 (入院例) 梅毒	宮崎市	60歳代	男	臨床診断例	発疹
			20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	皮疹
			20歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・ 定点医療機関からの報告総数は 1,957 人 (定点当たり 39.8) で、前週比 90% と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RS ウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 973 人 (16.8) で、前週比 80% と減少した。都城 (20.5)、小林 (19.3)、日南 (19.2) 保健所の報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【インフルエンザ】

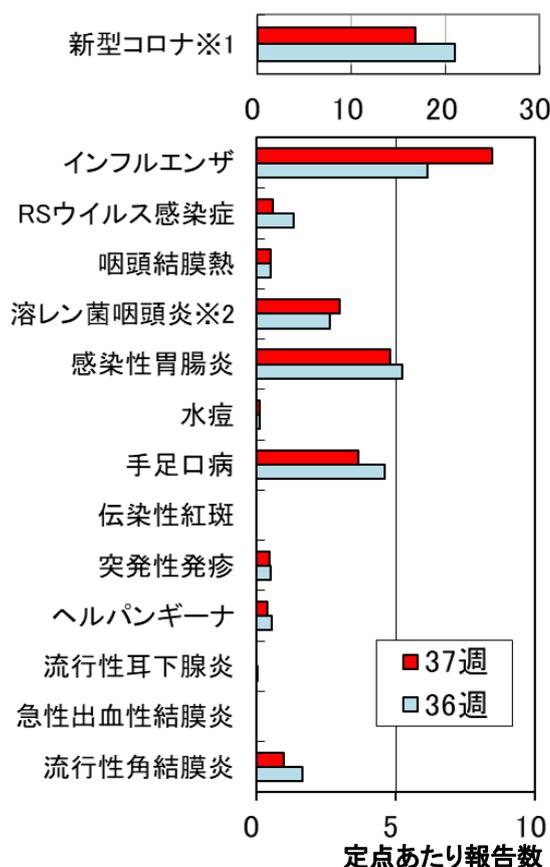
報告数は 491 人 (8.5) で、前週比 138% と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.27) の約 31.9 倍であった。中央 (27.0)、小林 (19.0)、宮崎市 (11.8) 保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

【手足口病】

報告数は 132 人 (3.7) で、前週比 80% と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (1.5) の約 2.4 倍であった。宮崎市 (5.7)、延岡 (4.5)、小林 (4.3) 保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 3 歳が全体の約 7 割を占めた。

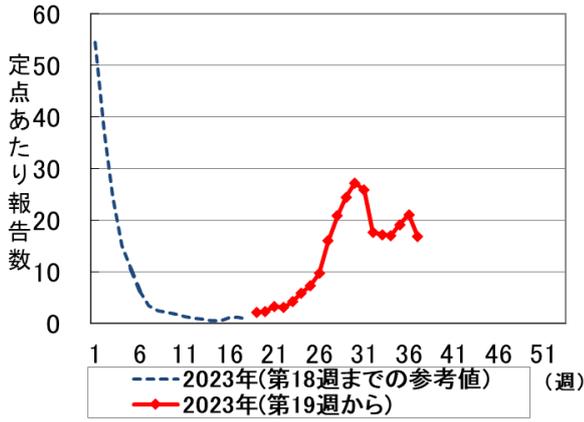
* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

《前週との比較》

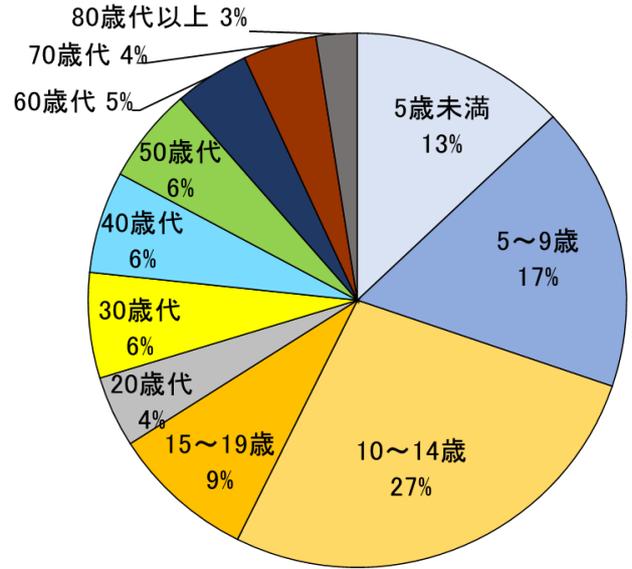


※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

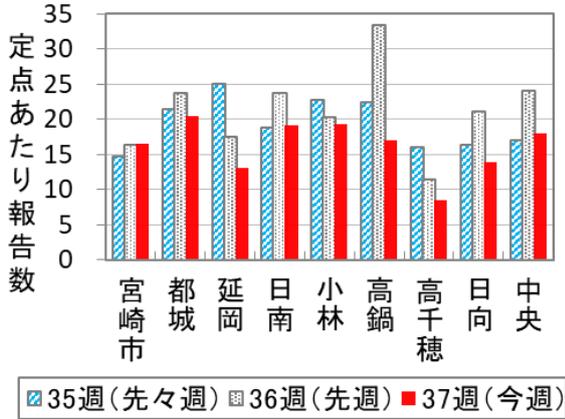
新型コロナウイルス感染症 発生状況



新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第37週)

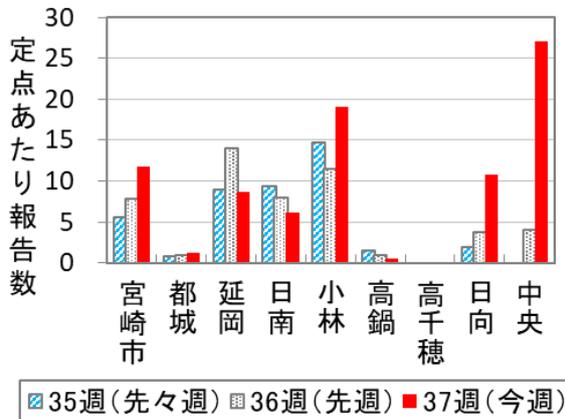


新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

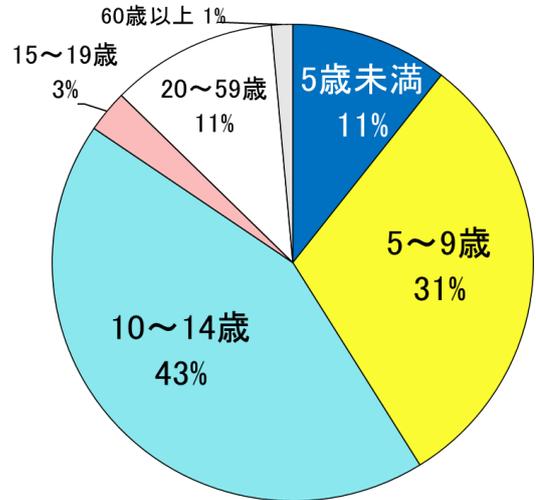


※新型コロナウイルス感染症の第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

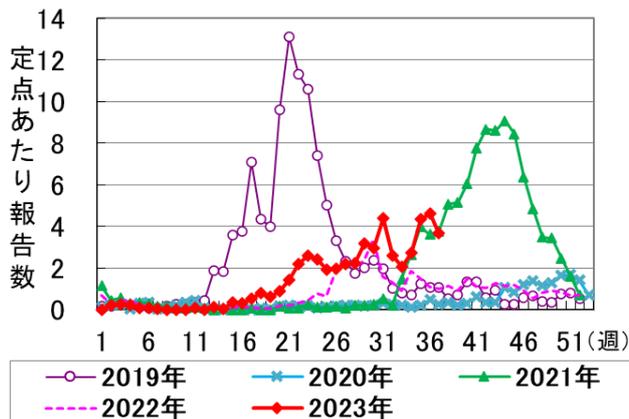
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



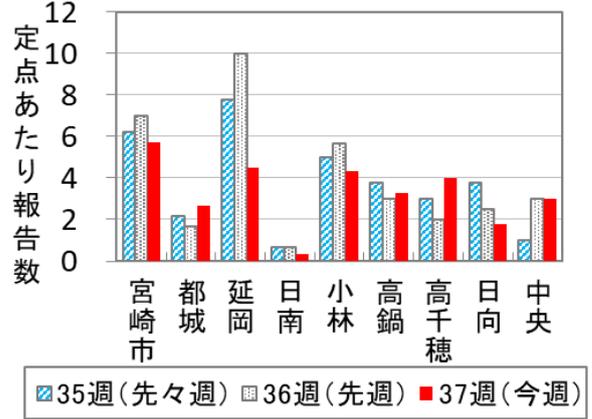
インフルエンザ年齢群別グラフ(第37週)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(11.8)、手足口病(5.7)
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	インフルエンザ(19.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(10.8)
中央	インフルエンザ(27.0)

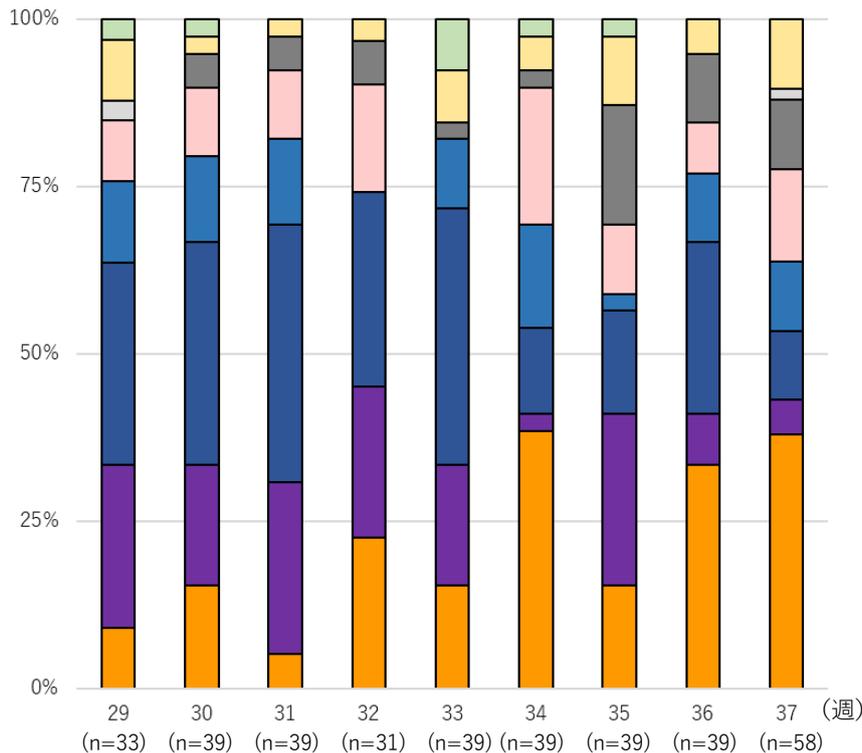
流行警報レベル開始基準値
・手足口病(5)

流行注意報レベル基準値
・インフルエンザ(10)

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統

- EG.5.1系統
- XBB.1.16系統
- XBB.2.3系統
- XBB以外のX系統
- BA.5系統
- XBB.1.9系統(EG.5.1を除く)
- XBB.1.5系統
- その他のXBB系統
- BA.2.75系統



XBB 系統は第 37 週で約 88%を占め、EG. 5. 1 系統（XBB. 1. 9. 2 の子孫株）が約 38%を占めた。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBB は BJ. 1（BA. 2. 10. 1 系統）／BM. 1. 1. 1（BA. 2. 75. 3 系統）の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

✚ 全国 2023 年第 36 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	231 例				
3類感染症	コレラ	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	127 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	1 例	エムボックス	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	2 例	つつが虫病	1 例	デング熱	3 例
	日本紅斑熱	11 例	マラリア	1 例	ライム病	1 例
	レジオネラ症	41 例	レプトスピラ症	8 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	34 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	9 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	17 例	後天性免疫不全症候群	9 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	21 例	水痘(入院例)	4 例	梅毒	184 例
	播種性クリプトコックス症	3 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	10 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 106%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱、水痘及び伝染性紅斑で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症とヘルパンギーナであった。

インフルエンザの報告数は 22,111 人(4.5)で前週比 175%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.18)の約 25.3 倍であった。沖縄県(13.4)、長崎県(8.8)、千葉県(8.6)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 99,744 人(20.2)で前週比 98%とほぼ横ばいであった。宮城県(32.5)、岩手県(29.9)、埼玉県(27.0)からの報告が多く、年齢群別では 20 歳未満が全体の約半数を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第37週(09月11日～09月17日)

疾病名		第36週	第37週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	356	491	189	12	61	31	76	3		65	54
	定点当り	6.14	8.47	11.81	1.20	8.71	6.20	19.00	0.50	0.00	10.83	27.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	1220	973	265	205	92	96	77	102	17	83	36
	定点当り	21.03	16.78	16.56	20.50	13.14	19.20	19.25	17.00	8.50	13.83	18.00
RSウイルス感染症	報告数	48	21	5	4	1		9	1		1	
	定点当り	1.33	0.58	0.50	0.67	0.25	0.00	3.00	0.25	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	19	18	6				8	2		1	1
	定点当り	0.53	0.50	0.60	0.00	0.00	0.00	2.67	0.50	0.00	0.25	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	95	107	21	42	8	9		7		19	1
	定点当り	2.64	2.97	2.10	7.00	2.00	3.00	0.00	1.75	0.00	4.75	1.00
感染性胃腸炎	報告数	188	173	50	32	2	30	30	10	1	13	5
	定点当り	5.22	4.81	5.00	5.33	0.50	10.00	10.00	2.50	1.00	3.25	5.00
水痘	報告数	5	5	2			2		1			
	定点当り	0.14	0.14	0.20	0.00	0.00	0.67	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	166	132	57	16	18	1	13	13	4	7	3
	定点当り	4.61	3.67	5.70	2.67	4.50	0.33	4.33	3.25	4.00	1.75	3.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	19	17	8	5	2	1		1			
	定点当り	0.53	0.47	0.80	0.83	0.50	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	20	14	2	3	2	1				5	1
	定点当り	0.56	0.39	0.20	0.50	0.50	0.33	0.00	0.00	0.00	1.25	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	10	6	6								
	定点当り	1.67	1.00	2.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～37週保健所受理分)

2類感染症	結核	77例		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	10例(1)	腸チフス	1例
	重症熱性血小板減少症候群	12例	つつが虫病	10例
4類感染症	レジオネラ症	4例	レプトスピラ症	1例
	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	6例
5類感染症	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	10例	水痘(入院例)	3例(1)
	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	2例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	4例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
			梅毒	133例(3)
			百日咳	4例

()内は今週届出分、再掲